

The294th Programming Deliberation Committee

第294回番組審議会 議事録

開催日 2025年12月23日(火)

出席者：山田吉彦委員長、長崎巨宏委員、安藤美冬委員、望月理恵委員

議題（審議番組）：『鈴木紗理奈と中川安奈の修羅shushushu』

放送日時：2025年11月27日 22:00-22:30

DJ：鈴木紗理奈 / 中川安奈

会社からの説明

この番組は、母としても一人の女性としても、数々の“修羅”場を経験してきた「鈴木紗理奈」と、元 NHK アナウンサーの「中川安奈」が現代の“修羅”道を生きる女性たちにスポットライトを当て、応援していく番組です。アラサー・アラフォー世代の女性が抱える仕事、恋愛、家庭などの悩みに寄り添い、全力で“修羅”の世界を駆け抜ける女性リスナー“シュラー”を応援。将来的には、SNS 展開も含めて、“シュラー”のファンダム、コミュニティ形成を目指しています。

委員からの意見・感想

審議委員 A

純粹に楽しく、面白く拝聴できた番組だった。
鈴木紗理奈さんがキャリアの過渡期に何を考えていたのか、ラジオで聞いた点は非常に興味深く、その時々流れる音楽ともシンクロしており、相乗効果でラジオの良さを強く感じた。
この番組を通じて、ファンダムが形成されていくことにも期待したい。
時代的に Podcast 展開も重要だが、同時に「ラジオで聴く意味」をより意識してもよいのではないかと感じた。
また、鈴木さんと比較すると、中川安奈さんからはまだ修羅場感が伝わらず、企画趣旨を考えると、より修羅場を経験してきた人へのオファーも選択肢としてあったのではないかと感じた。

審議委員 B

Instagram のショート動画をきっかけに知り、面白いと感じていた番組。
鈴木紗理奈さんが産後に感じたキャリアへの不安を率直に語るトークは、多くの人が共感し、安心感を覚えたのではないかと感じた。
一方で、ぶっちゃけた先に「どう乗り越えるのか」「どんな答えがあるのか」といった視点も欲しく、女性同士の共感トークで終わらず、何かヒントがあるとより響くのではないかと感じた。
また、中川安奈さんについては笑い声がやや気になり、現時点では番組内で魅力が十分に伝わっていない印象も。彼女の見え方が今後の課題だと感じた。

審議委員 C

あつという間の 30 分で、「もっと聞いていたい」と思える番組だった。

女性芸能人が本音をぶっちゃけ、弱さを見せる構成は、
多くの女性リスナーの励みになっているのではないのでしょうか。

鈴木紗理奈さんの明るさの裏にある繊細さや、本音で弱さを見せることの大切さが伝わり、
ラジオの良さを改めて実感し、長く愛される番組になって欲しいと感じた。
リアルイベントなど、自由に発言ができる「安全な場」があってもいいと思った。

審議委員 D

総合的に見て、とても良い番組だと感じた。

一方で、「修羅」というタイトルについてはやや気になる点があり、
言葉自体が持つマイナスのイメージを踏まえると、
よりポジティブなタイトルも検討できたのではないかと感じた。

また、現在扱っているテーマは非常に魅力的なだけに、
今後も継続して新たに響くテーマを提示し続けられるか、少し不安も残った。
共感しているリスナーを失望させないよう、
鈴木紗理奈さんと中川安奈さんの組み合わせによるトークを、今後も見守っていきたい。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上